2017年3月

京臨技ニュースレター

No.58

第57回日臨技近畿支部医学検査学会のお知らせ

今年は日臨技近畿支部の医学検査学会が京都で開催されます。臨床検査の大きな学会が京都で開催されるのは実に8年ぶりとなります。

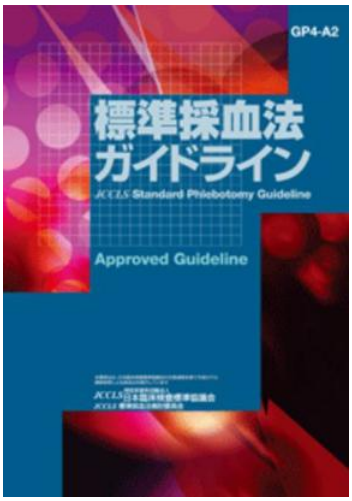
「Progress ～創意工夫で広げる臨床検査～」をテーマに、ゲノム医療やコンパニオン診断などの先進医療から、日々の業務の中で培った技術や知識、創意工夫や努力で研鑽した独自の方法までさまざまなジャンルの情報を得られる場にし、臨床検査技師としての知識と技量を高めていただきたいと願います。

「参加して良かった」と心から思っていただけるような学会を目指しています。

特別講演や教育講演・シンポジウムなど初級者から上級者まで幅広い層の方々に、価値のある情報を提供できるよう役員一同、知恵を絞って企画を検討しているところです。

ホームページにて随時情報を更新していきますので、時々チェックしてみてください。

平成29年10月28・29日は国立京都国際会館に集合!!



出典：NHKホームページhttp://www4.nhk.or.jp/doctorg/

＜特別講演＞　『総合診療医ドクターGの舞台裏』

松村理司先生（洛和会ヘルスケアシステム総長）

「ドクターG」と呼ばれる現役総合内科医が、実際に関わった症例を再現ドラマで症例提示して、考えられる病名について若手研修医と討論を行い、病名を絞り込んで推理するTV番組「総合診療医ドクターG」の医療監修者である松村理司先生による特別講演です。

＜教育講演＞　『安全な採血のポイント（仮）』

大西宏明先生（杏林大学臨床検査医学教室教授）

日本臨床検査標準協議会(JCCLS)から、2004年7月にわが国で初めての採血法に関するガイドライン「標準採血法ガイドライン」を発行されました。JCCLS 標準採血法検討委員会委員である大西宏明先生による教育講演。安全な採血方法、採血副作用の対応方法、採血手技が検査結果に与える影響など実践に即した内容の講演になるものと期待しています。

第18 回 新入・転入会員研修会
および会員交流・親睦会

平成28年9月8日（木）に新入・転入会員研修会を開催しました。新入・転入会員29名に加え、先輩会員の方々にも多数ご参加頂き、ゲーム方式で楽しみながら技師会活動の理解を深め、他施設の会員さんとの親睦も深めてもらいました。

新年度が始まり、新人さんが入職された施設の先輩会員の皆さま、ぜひとも技師会加入をお薦めいただき、今年度の新入・転入会員研修会に新人さんとご一緒にご参加ください。お待ちしています。

書評

「高齢者の臨床検査値の見方・考え方」

監修：佐守友博・高橋浩　　発行：臨床病理刊行会

共用基準範囲の設定対象は20～65歳であり高齢者の基準範囲ではない。しかし実際集められてくる検体の約半数は66歳以上の高齢者の検体である。我が国の高齢者の臨床検査の基準範囲については未だ統一された見解はなく、その指標の見直しと設定は高齢者診療にとって極めて重要であると思われる。そこで今回近畿の代表的な検査センター数社のデータを匿名化して年代別に集計し従来の基準値との比較を行い１冊の本にまとめられた。

日本の検体検査の約半数を請け負う検査センターの膨大なデータを集約し分析した本書が検査値の解釈を行う上で大きな参考になるであろう。

「在宅医療チームのための臨床検査」

監修：臨床検査振興協議会　　発行：（株）じほう

団塊の世代がすべて後期高齢者となる 2025 年を見据えて、在宅医療と臨床検査に焦点をあてた図書が出版された。

本書では、在宅医療の1日を例示して、POCTを中心に在宅ケアで必要な臨床検査、在宅医療での臨床検査の使い方など、在宅医療と臨床検査の実態について解説し、今後の展望について触れている。資料としてまとめられている在宅医療に用いられる検査試薬・装置と連絡先一覧表は詳細で、病院で使用するにも参考となる。

編集後記

「なるほど」と思わせてくれる人がいたら、「あっ、なるほど」とつぶやき、さっきの人と反対の意見を持つ人が理路整然と説明したら「わぁ、そうかぁ」と感心してしまう。無知を実感しているワタクシは、討論のなかで勉強になったなぁと思うことがあります。

気軽に参加して、わりと気兼ねなく質問したり意見を言い合える学会って楽しいですよね。まさに、そんな感じで、身によくつく学会としたいなぁと思っております。（し）

発行所　(一社)京都府臨床検査技師会
発行責任者・編集者　　白波瀬 浩幸
編集者　　齊藤　祐巳子
〒606-8395　京都市左京区東丸太町９-１マンパワービル3Ｆ
TEL・FAX 075-752-5090
http://plaza.umin.ac.jp/kamt/
会員専用ページ：ID kamt　PW kyoringi

ご意見等は、京臨技ホームページのトップページ最下部「お問合せ」ボタンから